

<ポルトガル旅行 2009>

1日目 日本 オランダ(アムステルダム) ポルトガル(リスボン)

アムステルダムに着いたら即両替して遊ぼうと思っていたら、空港の両替所で英語が聞き取れない&あまり通じず、急にものすごい不安に陥りました。
一人旅、無謀だったかな？

リスボンに着いて到着ゲートを出ると、すぐに私のお迎えの人がいて、一安心。
そして、6年前に泊まったことがあるホテル「レジデンシャル・ナザレス」に着くと・・・、なんと予約がキャンセルされていました！
でも、英語で「今日泊まれないの？」と聞くと、「大丈夫」ということで安心しました。

2日目 リスボン ナザレ

朝イチで、地下鉄でパルケ駅 動物園の駅(名前忘れました)へ。
地下鉄の駅からバスターミナルへの行き方が分からず、アタフタ。
何とかバスターミナルに着き、初めてポルトガル語で会話。
「ナザレまでの切符1枚ください」・・・通じた！
これで自信がつかしました。



ナザレの町並みは想像以上にステキで、めちゃくちゃテンションが上がりました！
おすすめしていただいて、感謝してます！

着いたらすぐにお昼ごはん。
もちろんシーフードと思い、シーフードレストランへ。しかし、英語のメニューが渡されたので、魚の名前が全く分からない・・・。
でも、とりあえずおすすめを頼んでみたら、バカリヤウ(鱈)が出てきて、一安心でした。



ナザレ1日目は、とにかくプライア地区をウロウロ。
少しウロウロしているだけで、なんとなくどこに何があるかが分かるこじんまり感がとてもよかったです。
ただ、夏のヨーロッパは初めてだったので、予想以上に日没が遅くて、夜ご飯を食べるタイミングがつかめず、夜はジェラードを食べて、そのまま明るいうちに眠ってしまいました。

3日目 ナザレ シティオ地区とペデルネイラ地区

ホテル「マレ」の朝食用の食堂の雰囲気と眺めがサイコーでした！

朝イチでシティオ地区へ。
展望台やサン・ミゲル岬からの眺めは、まさに絶景！
特に、サン・ミゲル岬の反対側ビーチは、ほとんど人がなく、ほぼ独り占め状態でした。午前中はずっとそこで読書。



お昼ごはんのお店で、めずらしかったのか「日本人？」と聞かれました。おすすめを聞いたり、ワインを選んでいる時に、「アルコバサは行った？」などと聞かれ、「行ってない」と答えると、パンフレットまでくれて、やたらとすすめて来ました。

そういえば、この旅では主にのんびりしようと思っていたのですが、なんとなく物足りない感じもしていたんですね。ビーチの方は意外とヨーロッパ人観光客でごった返しているし、ここはひとつ、世界遺産の修道院も見たいなあ・・・と、その時に思ったりして。



夕方からは、ペデルネイラ地区へ行きました。こちらの方が、普通の人の暮らしに触れられて良かったので、次回ナザレに来る時はこの辺に泊まってみたいなーと思いました。

4日目 ナザレ アルコバサ バターリャへ

朝、前日に観光案内所で聞いたバスに乗って、アルコバサへ。修道院、中世の雰囲気そのまま、とても興味深く感動しました！中世の修道院の様子や、建築様式など、すごく勉強になりました。本当に、昨日のレストランの人に感謝です！



右の写真はアルコバサでお昼（お菓子？）を食べたカフェです。地元の人と店員さんが話し込んで、超のんびりです！

・・・で、もっと他の町にも行きたい！という気持ちになり、観光案内所とバス停でいろいろ聞いて、何とかバターリャ行きのバスに乗れました！すると30分位でまた大きな修道院が見えたので、これだ、と思ってバスを降りたら、そのバス停の小さいこと小さいこと。「本当にここでよかったのかな？」と思いましたが、合っていました。でも逆に、あんなに小さくて、しかも乗務員の人も何も言ってくれないから、危うく乗り過ごすところでした。

アルコバサの修道院の方が、バターリャのそれよりも、より宗教色が強く、平和な感じがしたんですが、私はバターリャの方がよかったです。あのゴシック様式のゴテゴテした感じとか、ステンドグラスとか・・・。



5日目 ナザレ リスボン

もうこの頃には大体どんな乗り物でも、ポルトガル語でビビらず乗れるようになっていました。（笑）

リスボンの「ナザレス」に着いたら、まず fado レストランを予約しました。ナザレスのおじさんにいいお店を聞いたら、「ここがサイコー！」と教えてくれて、予約もしてくれました。



お店に行ったら、紳士なおじいさんが「ようこそ」と言って案内してくれ、テーブルの小さな黒板に、私の名前を書いてくれていて、とってもかわいくて感動しました！まるでおとぎ話の中に入ったようでした。



昼間は、6年前に入っていなかったジェロニモス修道院と、ペレンの塔、発見のモニュメントに行ってきました。発見のモニュメントを見た時に、学生時代に「大人になったら、もう一回来よう」と思ったことを思い出して、それが実現してとても感動しました。

6日目 リスボン

この日は国立古美術館に行きました。ちょうど特別展で、大航海時代のポルトガルの栄華についてやっていて、日本のものもたくさん展示されていて興味深かったです。

午後からは、ショッピングをしました。この日は祭りで、ほとんど店が開いていませんでしたが、(来年以降、しっかり覚えておきます) シアードにある「ア・ヴィダ・ポルトゲーザ」というお店がとってもかわいくて、たくさんお土産を買いました。

7日目 リスボン アムステルダム ナザレ

朝、最後に送迎してくれた運転手さんが「ありがとう、きをつけて、さようなら」と日本語で言ってくれてうれしかったです。何もかもが満たされて、ポルトガルを後にすることができました。

行きは、アムステルダムで緊張して固まっていたのですが、帰りは、しっかり「カフェ・アムステルダム」で、クロケットを食べて帰ってきました！